

科目名	国語	科目コード	20030
-----	----	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・3年
担当教員	猪平 直人（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，その他4】
教科書	『精選現代文改訂版』大修館書店 『高等学校古典(古文編)改訂版』『高等学校古典(漢文編)改訂版』三省堂（3冊とも2年次からの継続使用。）
補助教材	『新総合図説国語』東京書籍（1年次に購入済。）他にプリントなど。
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A．科目の概要と関連性】

1・2 学年での学習からさらに進んで、より高度な内容の教材を扱い、総合的な国語力向上を図り、あわせてより深い人生観照の態度の獲得を目指す。現代文では、高度かつ多様な文章の読みを通して読解力を高めるとともに、人間・社会・自然等に関する自らの考えを深め発展させる。古典では、古文・漢文の主体的な読解・鑑賞を通して古典に親しみ、人生を豊かにする態度を育てる。また、実践的な国語表現の力を養うとともに、読書習慣の確立によって思索する力を伸長させる。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
論理的な文章を的確に読解する力を身につける。	-	a1・a2
文学的な文章を的確に読解・鑑賞する力を身につける。	-	b1
語彙を豊かにし、正しい言語感覚を身につける。	-	b2
基礎的な古文・漢文を理解し、読解力・鑑賞力を養う。	-	a1・b1
表現の実践を通して、豊かな国語表現力を獲得する。	-	b2

【C．履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないこと。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、予め音読の練習をしておくこと。また、授業内容に応じて辞書や参考書を活用することはもちろん、進んで広範な読書をするように心がけること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（80%）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】

その他（20%）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	